

# 相談支援・社会復帰・民間団体ワーキンググループ 整理票

資料1

※本表は、これまでの関係者会議及びWGでの議論や委員の御意見を整理したものであり、必ずしも客観的データを伴わない記述も含まれている。

項目	施策・取組(●:施策、○:取組)	現状	課題・問題点	求められる施策等
相談支援・社会復帰・民間団体WG				
1 相談支援等の推進				
行政等における相談支援等				
精神保健福祉センター・保健所・市町村における相談支援等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●精神保健福祉センター、保健所における相談支援(精神保健相談、健康増進事業)</li> <li>●依存症家族対策支援事業</li> <li>●アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究(厚労科研費)</li> <li>○保健所をハブとした地域ネットワークの構築(愛知県衣浦東部保健所)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆最初にアルコール問題の相談に訪れるのは、家族が多い。</li> <li>◆(衣浦東部保健所では)アルコールの相談というのはほとんどなく、時々警察から、泥酔者の対応について相談がある程度であったが、地域連携を始めて以後、相談件数は年々増えている。</li> <li>◆児童虐待、高齢者の介護・虐待問題、DVの加害者のアルコール問題が、市町村や関係機関のケースワークでは掘り起こされていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆家族を治療の糸口とし、早期治療につなげることが必要。</li> <li>◆家族がアルコール問題について相談を希望しても、相談窓口が周知されていないという課題がある。</li> <li>◆相談を受ける側に、アルコール問題の知識が不足しているため、問題を把握できないケースがある。</li> </ul>	
専門機関における相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●依存症治療拠点機関設置運営事業</li> <li>●アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究(厚労科研費)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆医師等の医療従事者が、アルコール依存症者の回復のために自助団体を推奨するケースが少なくなった、という指摘がある。</li> </ul>	
民間団体における相談支援等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究(厚労科研費)</li> <li>○酒害相談及び酒害相談事業養成講座(断酒会)</li> <li>○保護観察対象者への教育・相談支援(断酒会・AA)</li> <li>○ASK電話ガイド(ASK)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇断酒会独自の相談事業を行っているところもある。</li> <li>◇矯正施設内のプログラムに当事者組織から回復者を講師派遣しているところもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆相談を受ける側の能力の均てん化に課題がある。</li> </ul>	